

わんぱく学園ニュース

平成17年 3月号 No111

“遙かなる天竺 ウルルンの旅その顛末”

わんぱく学園校長 安食 ひろ
(陶芸家)

過去何回かインドに行っており、念願であったインドで個展・茶会というのを1月28日～2月1日まですることが出来た。

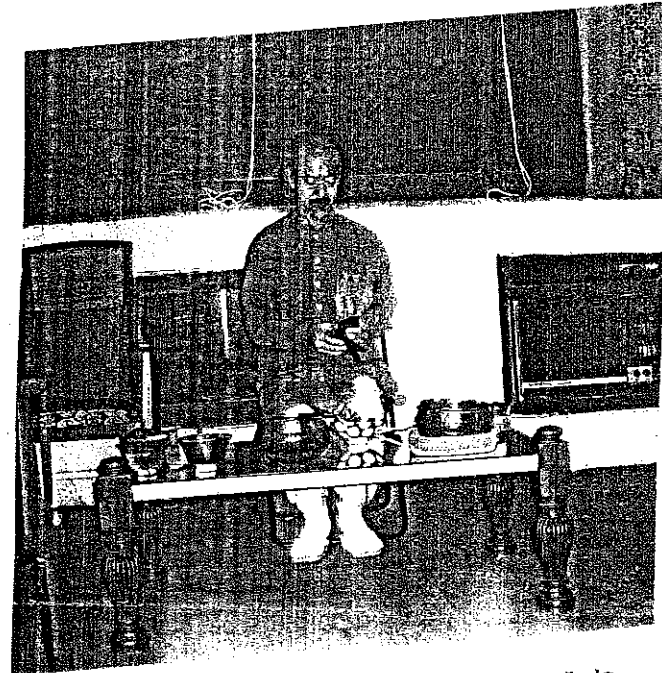
最初は、とにかくインドに行きたいが為に仕事にかこつけてというのが目的だったが、ボンベイのインド人の友人何人かが「協力したい——」「領事館にも案内を出そう——」。段々話が大きくなり、そうこうしてる時に例の津波が南インドを襲う……という出来事も有り、「それじゃ個展・茶会を、その被災者の人達に全て捧げよう」と話が広がった。その事を聞いた日本の知人も東京、岡山、平田からも1人かけつけて、“ひろハーレム会”ならぬ“婆麗夢会”と称して、昔娘6人、今娘1人と私、計8人の旅となった訳でありんす。

8日間の旅は、とてもスリリングな旅だった。

ボンベイのアート劇場のロビーで茶碗の展示と茶席を3席持ち、インド人を招いての茶会。

1日は、ボンベイの超高級住宅地ロイヤルファミリーのディナーパーティに招かれてベントツでの送り迎え。そこで呈茶。

飛行機で聖地ペナレスに飛び、一泊150～300円の露地裏の汚い宿に泊まり、朝のガンジス河畔での野点。



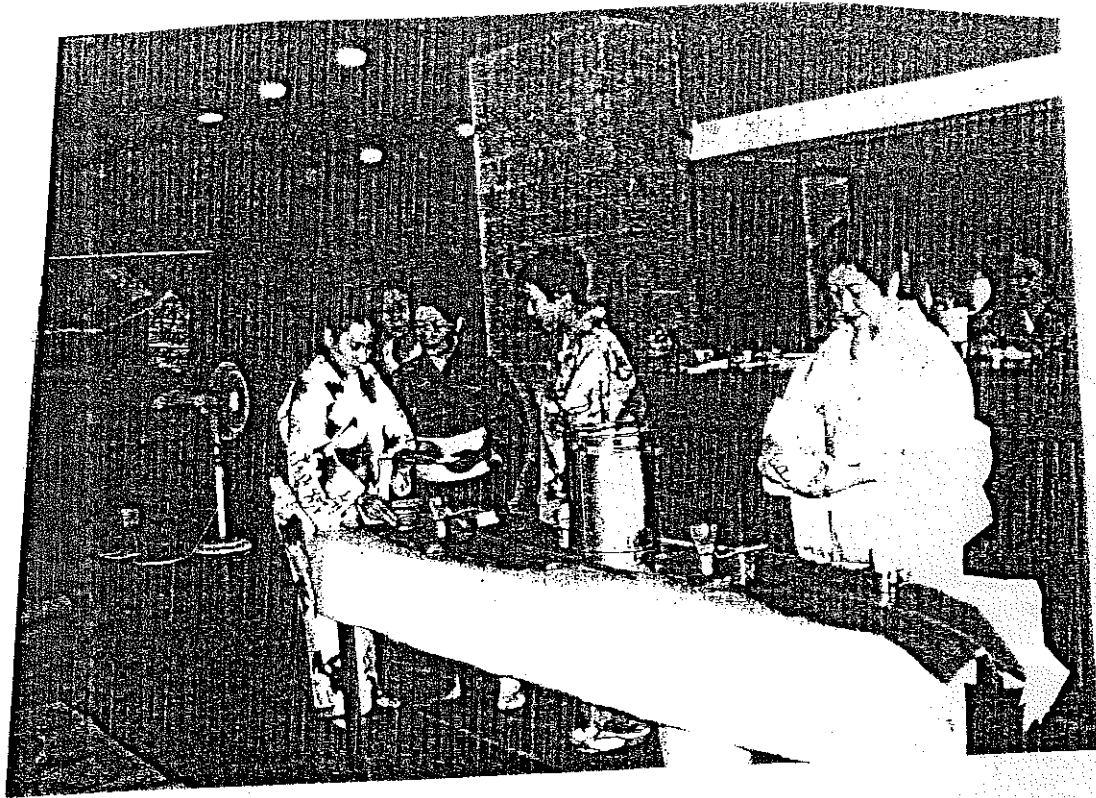
ボンベイの観光客は絶対来ないような下町、通称“泥棒市場”で布の元締めMRカリワラを訪ねての更紗探し。結局木綿



のサラサはインド人にとっては粗末な物。シルクが上物ということであるし、なかなか布は百年はもたないので見つけるのは不可能。

ボンベイの人口は、9千万人以上だからその群れみようは、半端じゃない。

バーレムの皆は、インド食も「うまいうまい」と平らげ、汚い路地も臭い処も「ワー汚い ステキ!! インドらしい」とはしゃぎ廻り、喜々として帰っていった。



私は、インドを案内してるつもりだったが、このハーレムウイルスに犯されたのだ。帰って1週間寝込んでしまった。

(3月11日からその報告がてら、出雲の高瀬川ギャラリーで個展。写真も多少おいてますので…)



雨水——

小アトリエ～おちらと～の玄関横に、昨年挿し木した^{はるすた}春薄(ヤナギ)のあかい芽が、心なしかふっくらとし、“春、遠からじ…”の思いを抱かせてくれます。

さて、今話題となっている地球温暖化防止のための京都議定書が2月16日、やっと発効されましたね。私たちは、この地球の営みの中で生かされているはずなのに…。昨年は地球のあちこちで台風、洪水、干ばつ、豪雪などの異常気象に、ひとつとではない心の痛みと不安を感じられた方も沢山いらっしゃったことと思います。その異常気象と温暖化をそのままむすびつけていいのかどうか私には分かりません。が全く関係ないとは思えません。その地球温暖化原因の根本は、私たち人間の生活から排出している二酸化炭素CO₂などの温室効果ガスが大きな影響を及ぼしているようです。そこで先進国の温室効果ガスの排出削減義務として、日本は08～12年の5年間に14% (島根県の目標は15%) 減らさなければなりません。

むずかしい事はよく分かりませんが、私たち一人ひとりが温室効果ガスの排出削減に取り組むことが、美しい地球を守って後世に伝えるために欠かせないことのように思えます。

「一人ひとりの行動で、私たちは未来を変えることができる」

「“もったいない!”を世界共通語に——」。

わんぱく学園ニュース04・11月号(No108)で触れたノーベル平和賞受賞のケニア環境副大臣のワンガリー・マータイさんの言葉ですね。

「昔は、お金や物がなくても、のんびりとみんな寄り添って生きていった。でも、今は…」とつぶやいたある友人のひとつこと。何の対策もせず温暖化がこのまま進むと、2100年には平均気温が最大5.8度も上昇、海面も最大88cm上昇し島が沈み国が沈むのでは?と。誰もがそのことに早く気づき、行動を起こさなきゃあ～と思います。

図らずも、山陰中央新報社の環境探偵団に認定していただいた小わんぱく学園ですが、“私たちにできることは何か?。小さなことから…まず自分の暮らしの中で!”と、家族みなさんと十分話し合い実行してみませんか!?

私たちにできることって
何だろう～？

♪ 節電として

- ・冷暖房の使用時間の短縮
(みじかくしたら いまより もっともっと げんきになるのでは?)
- ・冷暖房の設定温度を低く
(1度 へらすだけでも ちがうみたいだよ!)
- ・冷蔵庫のドアの開け閉めの回数減
(あけたり しめたりせずにね) (いつまでも あけたままなかを じっ~と にらめっこしないでね!!)
- ・冷蔵庫の中の整理 (いつまでも ねむっているものは ないかな?)
- ・テレビを見ない日 又は 時間を短縮 又は 家族一緒に
(かぞくみんなが いまよりもっと なかよしになるほうほうが み つかれるかも?。どんなほうほうがあるか はなしあってみたら?)
(おうちのひとといっしょに みると もっとたのしいしね)
- ・寝る前にテレビのコンセントを抜く
- ・お風呂に入る時間差を短縮 [節ガスにも…]
(さめないうちに つづけてはいると いいよね)
- ・白熱球 (60ワット) を同じ明るさの蛍光灯 (20ワット) に

♪ 節水として

- ・漏水の点検 (すいどうせんを きちんと しめているかな?)
- ・シャワー時間の短縮 ・水をとめての歯磨き
(つかっていないのに みず がながれていないかな?)
- ・お風呂の残り湯の使い方
(せんたく や はなのみずかけにつかうと いいかな)

♪ 節ガスとして ・ガス湯沸かし器の種火をやめる

♪ 節ガソリンとして

- ・1週間に1回マイカー通勤や1日10分間アイドリングやめる

◎ 家族みんなが集まる場所へ
おはようございます?

「環境のために」と思うと人ごとのように感じますが、我が家の家計の節約のために、家族・街のみんなが仲良く暮らすためにと考えてみたら、実行しやすいのでは?

✿ 手作りこんにゃく

2月13日、アトリエ「おちらと」でこんにゃく作りを楽しみました。皆さん、こんにゃくって何が変わってあのようなプリンプリンのものが出るのかご存知ですか? 私たちが、いつも何げなく口にしている“こんにゃく”って、「一体何から出来てるのやら?」「どんなふうにして?」 参加したみんなの頭の中は、??だらけ……。福田稔先生が何やら袋からゴソゴソ出して見せて下さった黒っぽい固まり。「何だろうかな?」とよ〜く見れば、どこか里芋にも似たような、でも違うようなごつごつした随分大きな物(芋)。一人ひとり順番に手のひらにのせてみました。「へえ~ このお芋がこんにゃく芋?」「あっ! 重たぁ~い!! これって4年もの?」「かわいい! 1年もの?」「こんにゃく芋って、大きくなるまでには時間がかかるんだね!」 さっそくこんにゃく芋を手を赤くしながら、大事そうに洗いました。そして包丁で薄く切り、200gずつに分け蒸し、ミキサーやすり鉢すりこぎでつぶし、凝固剤を入れよくこね、手で丸め、また熱湯の中へ。ゆっくりゆで、冷水に取りやっとな出来上がりました。包丁での皮むきの時に手の皮を少しむき涙も出ました。が何のその! みんなで作ったプリンプリンのこんにゃくを刺し身にしたり、鍋に入れ、フウフウ満足々、楽しいひとときでした。 貴重なお芋を寄贈して頂いた福田先生に感謝したいと思います。 (大塚 記)

◆3月の「わんぱく学園」メニューは、下記の通りです。

3月6日	トントン昔があったげな!(魁 土江継 颯おちらと) 平田(雲州ふらた)の昔話しの魁カレーライス作り
13日	紙風船作って遊んかあ~? (魁 福田 颯 颯おちらと)
20日	荒神谷遺跡公園探検ごっこ(雨雪の場合キャンセル) ごみ拾いもしてピカピカにしよう! ごみ袋準備 現地の管理棟前9時半集合 魁 榎野麟副校長
27日	粘土ねねあ・そ・ぼ!!(魁 安食み校長 颯おちらと) おちらと喫茶でひろ校長おもっせ訓話)

集合時間 9時20分・集合場所 光人塾前駐車場

《学園の問い合わせ 土江和世09077745913》 [文責 土江和世]